

教育研究業績

芸術学部芸術学科音楽領域

| 氏名 | 金子 敦子 | 職名 | 教授 |
|------|---|----|----|
| 教育活動 | [学部] 西洋音楽史概論、西洋音楽史各論、民族音楽研究、日本音楽研究、音楽の世界 音楽教育Ⅲ(音楽教育研究法)、音楽教育Ⅳ(卒業論文)、音楽科指導法3、音楽科指導法4、 [大学院] 音楽学特論1 | | |
| 学位 | 芸術学士(国立音楽大学) 文学修士(お茶の水女子大学) 博士(芸術文化学)(大阪芸術大学) | | |
| 学歴 | 昭和53年3月 国立音楽大学音楽学部楽理科 卒業 昭和53年4月 お茶の水女子大学大学院修士課程 人文科学研究科音楽学専攻 入学 昭和55年2月 オーストリア(インスブルック大学)、スイス(チューリッヒ大学)で音楽学の研修 (昭和56年4月まで) 昭和57年3月 お茶の水女子大学大学院修士課程 人文科学研究科音楽学専攻 修了 | | |
| 職歴 | 昭和57年4月 お茶の水女子大学文教育学部 音楽科 教務補佐(平成2年3月まで) 昭和62年7月 放送大学非常勤講師(平成7年3月まで) 平成2年4月 名古屋芸術大学専任講師(平成8年3月まで) 平成4年4月 明治学院大学非常勤講師(平成8年3月まで) 平成8年4月 名古屋芸術大学 助教授(平成19年3月まで) 平成12年4月 愛知県立芸術大学非常勤講師(平成15年3月まで) 平成14年11月 岐阜県立看護大学非常勤講師(現在に至る) 平成15年5月 放送大学非常勤講師(平成16年3月まで) 平成19年4月 名古屋芸術大学音楽学部音楽文化創造学科 教授(平成29年3月まで) 平成29年4月 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科 教授(現在に至る) | | |
| 専門分野 | 音楽学(特に、民族音楽学) | | |
| 研究課題 | 日本の音楽文化(日本近代における楽器研究、唱歌研究、日本民謡の研究など)。 特に近年は、国産繭(小石丸、白繭種など)を中心に、国産繭からとった絹箏弦の研究と普及に従事している。 | | |
| | [著書・論文・学会発表] ・「楽器に見る音楽観」(共著 執筆補助) 『現代日本における音楽』(放送大学ラジオ出版会) (平成20年3月) ・「和楽器弦ができるまで」(単著) 『日本シルク学会誌』vol.17 (平成20年3月) ・「児童・青少年の視点から見た大正琴」(単著) (社)大正琴協会(名古屋) (平成20年11月) ・『日本大正村蔵音楽器総図録』(共著) 名古屋芸術大学音楽総合研究所 (平成22年3月) ・「楽器の伝播とグローバリゼーション—大正琴の場合」日本音楽学会中部支部第100回例会 シンポジウム 於:名古屋芸術大学音楽学部 (平成22年11月) ・WEB動画資料「大正琴の製造過程と技」(監修) Webサイト: http://www.kyokyo-u.ac.jp/ongaku/tanaka/kaken/Taishogoto.html 科研—基礎研究C平成20-22年度に関わる研究(テーマ:楽器におけるわざ学の伝承と グローバリゼーション)(単著) (平成23年1月) ・「中学校鑑賞教材 選択の観点と教材研究(春「和声と創意の試み」第1集「四季」 から—、諸民族の音楽—声の音楽—、諸民族の舞踊音楽)」(単著)『最新中等科音楽教育法』 中等科音楽教育研究会(編)音楽之友社 (平成23年2月) ・「邦楽器弦の特性解明及びシルク弦の開発」(平成21・22年度 貞明皇后蚕糸記念科学 技術研究助成 報告書)共同研究(代表 徳丸吉彦) 研究主催者、大日本蚕糸会 (平成23年3月) ・「大正琴資料図録—博物館・資料館等の所蔵品による」(単著)(社)大正琴協会(名古屋) (平成23年8月) | | |

| | |
|---------------------|--|
| <p>教育研究業績</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「国産蚕品種による絹箏弦の開発 -繭品種による絹弦の物理的特性」(共著) 『日本シルク学会誌』vol.20 (平成24年3月) ・「交響組曲《シェエラザード》(リムスキー＝ニコルサコフ)コラール(カンタータ147番から)(バツハ)」 (単著)『音楽鑑賞教育』季刊 Vol.9(通巻513号)公益財団法人 音楽鑑賞振興財団 (平成24年4月) ・「バンバン!ケンバン♪はままつ -キーボードと出会うコンサートとフォーラム 講演・シンポジウム-」大正琴の文化史-アジアにおける大正琴の文化と変容-(パネリスト) 日本音楽学会 平成24年支部横断企画シンポジウム 会場:静岡文化芸術大学(平成24年10月) ・「絹箏弦のインターフェイス研究」(報告書)(平成24年度 貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成) (共著) 大日本蚕糸会 (平成25年3月) ・「国産絹箏弦による演奏会と体験会 報告書」(財)大日本蚕糸会蚕糸絹文化叢書vol.18 (平成26年3月) ・「大正琴-誕生から今日まで100年の歴史-」(単著)『浜松市楽器博物館総合案内 図録2015』 浜松市楽器博物館(編)浜松市発行 (平成27年3月) ・「一絃の琴・二絃の琴(解説書付きDVD)」(共著)名古屋芸術大学音楽総合研究所(平成27年3月) ・「国産蚕品種による絹箏弦の開発 -絹弦の普及-」第62回日本シルク学会大会発表 於:岡谷商工会議所 3階大会議室 (平成27年5月) ・「第二回国産絹箏弦を聴く会」報告書(DVD付き)(共著) 国産絹箏弦普及の会:大日本蚕糸会 (平成28年3月) ・日本音楽学会日本音楽学会中部支部第117回例会研究報告:DVD「一絃の琴 二絃の琴」の紹介 於:名古屋芸術大学東キャンパス (平成28年7月) ・「根室女工節をたずねて」(単著)『釧路新聞』 (平成29年9月) ・「大正琴の部活による音楽文化の継承-岩手県住田町立世田米中学校の取り組み-」(単著) 「音楽教育実践ジャーナル」Vol.15 (平成29年12月) ・「明治・大正時代の日本の養蚕・蚕糸業と「養蚕唱歌」」(単著)『日本シルク学会誌』Vol.26 (平成30年3月) ・「日本民謡の伝承と学校教育」(単著) 名古屋芸術大学教職センター紀要第7号 (平成30年3月) <p>[講演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大正琴の世界—大正琴発明者森田吾郎の夢とロマン」 主催:浜松市楽器博物館 (平成20年11月29日) ・「大正琴の歴史と現在」名古屋木鶏クラブ・セミナー (平成21年8月29日) <p>[講習会、演奏会、企画展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1回国産絹箏弦による演奏会と体験会」於:紀尾井ホール 主催:国産絹箏弦普及の会 (平成26年1月) ・「第1回絹の箏糸弦を締める講習会」於:蚕糸科学研究所 主催:国産絹箏弦普及の会 (平成27年2月) ・「第2回 国産絹箏弦による演奏会と体験会」 於:紀尾井ホール 主催:国産絹箏弦普及の会 (平成27年12月) ・「第2回絹の箏糸弦を締める講習会」於:名古屋芸術大学 主催:国産絹箏弦普及の会 (平成29年1月) ・「第3回絹の箏糸弦を締める講習会」於:北九州市小倉 主催:国産絹箏弦普及の会 (平成30年1月) |
| <p>所属学会 団体等</p> | <p>日本音楽学会、東洋音楽学会、日本音楽教育学会、民族芸術学会、日本シルク学会</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>社会的活動</p> | <p>日本音楽学会中部支部 委員(平成17年4月～21年3月) 同上 支部長(平成23年4月～25年3月) 同上 委員(平成25年4月～27年3月) 同上 幹事(平成27年4月～現在に至る) 全国子供大正琴コンクール 審査員(平成18年より現在に至る) 大正琴ギネス世界記録2009JAPAN 証人 於:静岡「グランシップ」(平成20年4月) 大正琴紅白合戦 審査員 於:東京NHKホール (平成20年7月) オカリナ ギネス世界記録挑戦 証人 於:名古屋栄「オアシス21」(平成21年4月) 第5回旭声会民謡発表会「根室女工節の伝承」 於:根室市総合文化会館大ホール 主催:根室民謡協会旭声会 特別出演 (平成30年4月)</p> |
| <p>その他</p> | <p>貞明皇后記念 蚕糸科学賞受賞(財団法人 大日本蚕糸会) 平成25年11月</p> |